

複合芸術研究科（修士課程）3つのポリシー（改正前）

ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

本研究科の修了に際しては、以下の能力を備えることを基準とする。

- ① 異なる分野と複合させながら既存の枠にとらわれない新しい芸術を探求する能力
- ② 現代社会の動向や地域特性を捉え、美術・デザインの方法論を通じて、問題解決へつなげる具体的な提案ができる能力
- ③ グローバルな視野を持ちながら現代芸術領域の研究や実践を評価・検証し、その成果を発信する能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本研究科の教育目的達成に向けた基本的な教育課程編成等の考え方を、以下にカリキュラムポリシーとして示す。

- ① 自らの表現手法を他の芸術領域もしくは芸術とは異なる領域と複合させる経験を通じて、主体的に新しい芸術を探求していく力を養う。
- ② 社会の動向や地域の特性を捉え、他者と連携しながら、美術・デザインの方法論によって具体的な提案を行える実践力を養う。
- ③ 現代芸術領域に関する複合的な研究を通して、新たな領域の拡張に関する理論構築を試みながら、その成果を広く発信していく力を養う。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本研究科は、多様化する現代芸術領域と複雑化する地域課題を踏まえて、表現技術の複合、アートマネジメント、ソーシャルデザインなど、芸術的感性を実社会への価値提供や課題解決につなげる実践的手法を教育・研究することで、一人ひとりの個性を尊重した専門性のさらなる深化の追求や新たな芸術表現の創出、より本質を捉えた地域貢献を図ることを目的としている。この目的を達成するため、本研究科が求める人材像を次のとおりとする。

- ① 新しい芸術を探求する意欲のある人
- ② グローバルな視野と地域への視点を併せ持つ人
- ③ 他者と協働しながら主体的に制作や研究に取り組める人